

令和2年4月8日

保護者の皆様  
地域の皆様

海南市立巽幼稚園・小学校・中学校

## 震度5弱以上の地震が発生した場合の対応について(協力のお願い)

(津波の被害が予想される場合を含む)

いつも、本園・学校の教育推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、平成23年3月に発生しました東日本大震災により、東北地方は甚大な被害を受け、今なお多くの方々が厳しい生活を送っています。私たちの地域でも、以前から東南海・南海地震などの大規模な地震が起こる可能性が指摘されています。そのため、巽幼稚園・小学校・中学校では、子どもたちの発達段階により多少の違いは考えられますが、基本的には以下のように対応を考え子どもたちに指導するとともに、今後避難訓練や防災教育に取り組みたいと考えています。

子どもたちの安全は、学校だけで守れるものではありません。ご家庭の協力はもちろん、地域の皆様方にもご協力いただきたいと切にお願いいたします。特に、災害時の情報については、学校だけでは十分な把握ができるとは限りませんので、皆様のご協力をお願いします。

### 【時間帯別の判断】

- 1 登校前 危険が予想される場合には、登校させない。  
速やかに緊急放送等で情報を得たうえで安全確保や避難をする。
- 2 登下校中 家に帰るか学校に登校(園)するか、子どもが判断して行動する。  
途中に大人がいる家を見つけて、一時避難をさせていただく。  
可能であれば、一時避難させていただいたところから自宅か学校へ連絡を入れる。(地域の方々の協力もよろしくお願いします。)
- 3 在校(園)中 学校で情報収集や危険箇所の確認等状況把握に努め、安全を第一に考え判断・対処する。  
下校させることで危険が増すと考えられる時や、自宅で子どもだけで過ごさなければならないことが予想される場合には、学校で待機させる。(この場合の対応は、次のとおり。)  
○各担任が子どもの人数点検を行う。  
○各担任が保護者と連絡を取り、相談のうえ対応する。  
①保護者の指示により子どもだけで下校させる場合  
・担任は、名簿に子どもだけで帰らせたことを記録する。  
・保護者は、子どもが帰宅したことを確認のうえで学校へ電話を入れる。  
・担任は、名簿に確認電話を受けたら記録する。

## ②保護者に迎えに来ていただく場合

- ・担任は保護者を確認のうえ、子どもを連れて帰っていただく。（担任は、保護者に子どもを引き渡したことを名簿に記録する。）
- ・交通渋滞や交通事故を防ぐため、車での迎えについては一方通行（重根から登って阪井へ降りる）にご協力くださいますようお願いいたします。

## ○保護者との連絡が取れない場合

- ・子どもを学校で待機させる。（担任は名簿に記録する。）長時間になる場合や下校時刻が遅くなる場合も予想されるので、保護者と連絡が取れるよう努力する。  
保護者の皆様からも、学校へ連絡をお願いします。（連絡がつけば上記の対応に準じます。）

## 【危険場所】

- ・日方川を津波が遡上することが予想されます。十分注意するとともに、保護者や地域の皆様からの情報提供をお願いします。
- ・大規模地震により亀池の堤防の崩壊も危惧されます。十分注意するとともに、保護者や地域の皆様からの情報提供をお願いします。
- ・土砂崩れや道路の通行困難等の情報提供もよろしくをお願いします。

## 【避難場所】

在校（園）中であれば、天候や被害の状況等により確定できませんが、原則としては安全確認のうえで運動場か体育館を一時集合場所とします。

## 【その他】

- ・兄弟姉妹が幼稚園や小学校・中学校に分かれて在籍している場合には、それぞれの学校で先に記した対応を取りますので、それぞれの学校へ連絡や迎え等をお願いします。
- ・学校では保護者と連絡を取るため緊急連絡カードに緊急連絡先を記していただいています。非常時の場合に連絡が取れるよう、再度ご配慮をお願いします。また、学校から携帯電話等に連絡が入っている場合には、折り返しの連絡をお願いします。

## 【家族で確認いただきたいこと】

- ①在校（園）中以外の震災時の避難場所
- ②家族がばらばらになった場合の集合方法
- ③連絡方法
- ④家族・親戚・知人等の連絡先
- ⑤その他必要なこと